

令和5年10月22日

太田市議会議長 矢部 伸幸 様

弦音会 清水 梨花

第85回 全国都市問題会議 参加報告書

- 1 期 日 令和5年10月12日(木)～10月13日(金)までの2日間
- 2 開 催 地 青森県 八戸市 八戸市公会堂・公会堂文化ホール
- 3 開催テーマ 『文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展』 について

【1日目 10月12日 木曜日】

開会式	開会挨拶 全国市長会会長 福島県相馬市長	立谷秀清
開催市	市長挨拶 青森県八戸市長	熊谷雄一
来賓祝辞	青森県知事	宮下宗一郎
基調講演	テーマ『アートの役割って何だろう?』 東京藝術大学長、アーティスト	日比野克彦
主報告	八戸市の文化・スポーツによるまちづくり 青森県八戸市長	熊谷雄一
一般報告①	まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる 文化事業ディレクター、演出家	吉川由美
一般報告②	標高差 1,500m の地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出 長野県東御市長	花岡利夫

一般報告③ まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用

株式会社鹿島アントラーズ FC 取締役副社長

鈴木秀樹

【2日目10月13日 金曜日】

パネルディスカッション

【テーマ】 文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展

【コーディネーター】 東京大学大学院人文社会系研究科教授 小林真理

【パネリスト】 合同会社 imajimu 代表取締役 今川和佳子

拓殖大学商学部教授 松橋崇史

静岡県沼津市長 頼重秀一

京都府綾部市長 山崎善也

閉会式 次期開催市市長挨拶 兵庫県姫路市長 清元秀泰

閉会挨拶 公益財団法人日本都市センター理事 奥山恵美子

4 参加者 全国の市長及び市議会議員 1800名

5 所感等

アート役割について日比野克彦氏がアートとは生きる力、アートとは多様性ある社会を築く基盤、アートとは社会的な課題に対して持続的に取り組み続けていくには大切なものであると言ったことを捉えることが重要。

多様性ある社会を目指すことをはじめ、地球規模の環境問題、エネルギー、教育、差別、貧困、平和など、これらの社会的課題に対して人が取り組んでいくときにその行為を継続的に持続的に続けていくには、1人1人の気持ち動くことが大切だと考えることができる。

岐阜市の『こよみのよぶね』という地域伝統とマッチングしたイベントをはじめ、各地域で活動されている朝顔プロジェクト、香川の瀬戸内国際芸術祭、熊本市のマッチフラッグプロジェクトなど、作るにより人が集まり会話が生まれて、人と人が繋がることで多様な想いが時代を変化させていく。

今回初めてこのような会議に参加して産業やスポーツが有名な22万人都市の八戸市だが観光に対する意識のレベルが高い。ただ工業だけ、スポーツだけじゃない「住んでいる人が誇りもてる」「住んでいる人や遊び、観光に来る人も楽しめる」ということを改めて実感できた。

八戸市をはじめ、他市の取り組みを学んだ。小林真理氏の地域の文化や歴史芸術を活用したまちづくりや沼津市長頼重秀一氏のスポーツとアニメを活用したにぎわいの創出。世代を超えて幅広い分野で地域経済を活性化させるまちづくりの取り組みが参考になった。本市は八戸市と同様22万人都市であるが産業やスポーツだけに偏り、地域経済を盛り上げよくしようとするまちづくりはできていないのではないだろうか。

